

キャリア形成プログラム

(皮膚科学教室)

取得を目指す専門医資格

皮膚科専門医

【コースの概要】 皮膚科を学ぶための簡単親切ガイド

全体像

専門医の取得・大学院進学について

専門医は、日本皮膚科学会入会の際、5年間後に資格を得ます。「他科での研修」及び「非研修施設での研修」は、その1/2が研修期間として認められますが、併せて2年間が限度です。大学病院に1-2年間在籍しなければなりません。自由に学んで下さい。その間、学会発表、論文、講習会の所定の単位を取り、専門医試験に合格しなければなりません。その後、指導専門医コースがあり、美容皮膚科・レーザー、皮膚悪性腫瘍の2つが制度化されています。日本アレルギー学会や日本リウマチ学会の認定医も取得可能です。

研究学会発表、カンファレンスなど

症例の勉強会を行って、その患者さんから学んだことを論文で調べたり、学会で発表したりします。なぜだろう？どうしてだろう？と疑問が湧いたテーマを皆で積極的に研究しています。

研修後は・・・

皮膚科専門医を目指し、さらに指導専門医を目指します。
研究したい人は大学院（社会人大学院生もいます）などのコースがあり、医学博士を取得します。その後は、外国留学、国内留学などのコースもあります。
専門医取得後は、入局後5~6年で、公立病院皮膚科医長として第一線で活躍することも可能です（ただし、本人のやる気と実力次第）。

留学について

Case Western Reserve University, University of Colorado、京大膠原病内科、兵庫医大リウマチ膠原病科に留学した先生もいるので、医局に来て質問してみてください。

女性医師が働きやすい環境をつくります

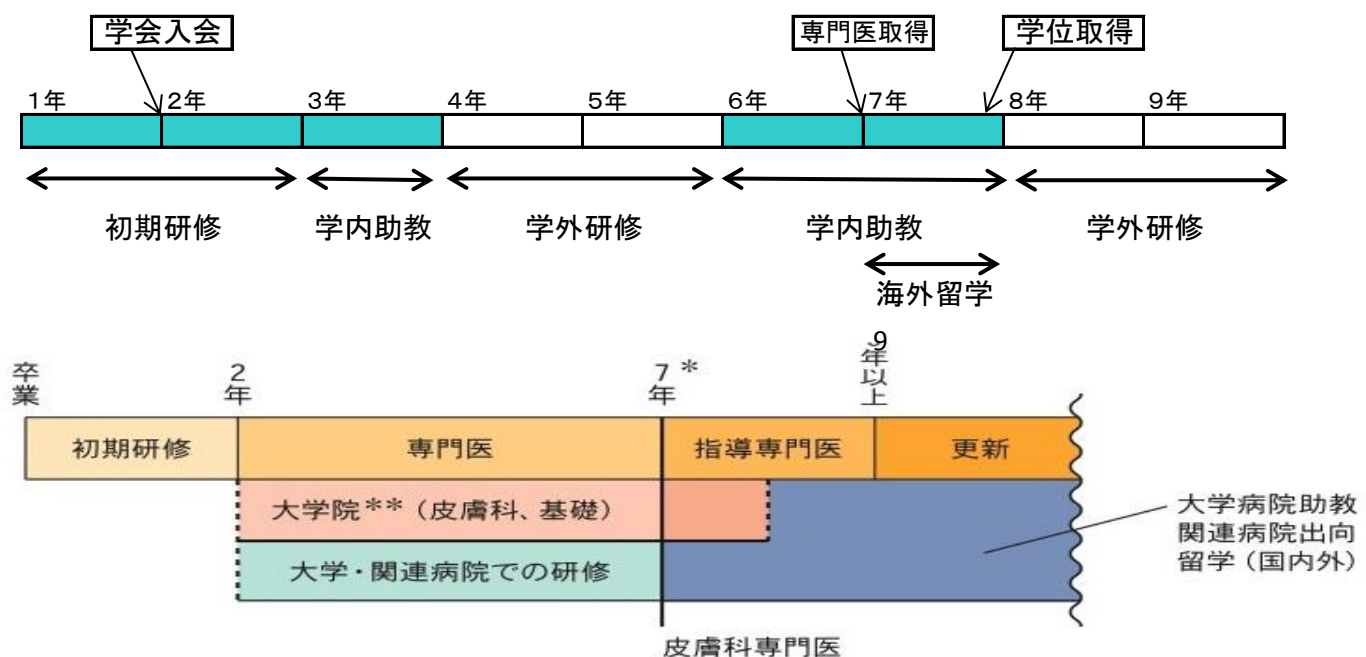
皮膚科では職場における女性の割合が他科に比べ多い傾向にあります。女性が働きやすい環境が、現代の社会では求められており、出産や子育てをしながらも働くことができる環境づくりを当科でも目指しています。具体的には、定期的に教授との個別な話し合いを持つことによって、個人レベルでの対応を可能にしており、個々にベストな職場環境を提案します。

和歌山県皮膚科医会ともきわめてフレンドリー

和歌山県立医大皮膚科は、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、ケミカルピーリング、ニキビ、血管炎などのガイドライン作成にも積極的に関わってきた経緯があり、系統的な治療法が、比較的短期間で習得できます。皮膚科専門医を取得したあとの指導専門医も短期間で取得できるような制度になっています。そして、和歌山県内の皮膚科開業医の先生方や勤務医で作っている和歌山県皮膚科医会ともきわめてフレンドリーな関係です。

・9年間の研修予定(モデルコース)

※ は学内研修



* 初期研修中に日本皮膚科学会に入会することも可能。初期2年のうち1年は専門医のための期間と認定される。
** 大学院のうち2年間は臨床主体で、3~6年後に入学することも可能。

指導体制

・研修先病院

学会認定施設	研修病院名	診療科	指導者数 (人)	うち専門医 数(人)	受入可能最大 人数(人)
○	日本赤十字社和歌山医療センター	皮膚科	3	1	1
○	公立那賀病院	皮膚科	1	1	1
○	和歌山ろうさい病院	皮膚科	3	2	1
○	新宮市立医療センター	皮膚科	0	0	0
○	海南医療センター	皮膚科	1	1	0
○	有田市立病院	皮膚科	1	1	0
○	橋本市民病院	皮膚科	1	1	0

※

※平成27年4月1日より、当面、常勤医不在。

・専門医について

学 会 名	日本皮膚科学会
資 格 要 件	原則は下記のようなものである 医師となって、なおかつの本皮膚科学会に入会して最低5年が必要 その他の条件 1. 本会の主催する講習会への参加 2. 学術集会における学術発表 3. 皮膚科および皮膚科関連専門誌への原著論文の発表 詳細はHP参照 http://www.dermatol.or.jp/medical-specialist/saisoku.html